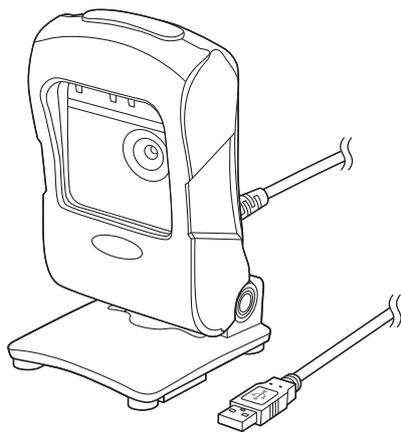


2次元バーコードリーダー (定置式) 取扱説明書



この度は、2次元バーコードリーダー(定置式)「BCR-2DST3BK」(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前によくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

セット内容

- ①コードリーダー 1台 ③取扱説明書・保証書(本書) 1部
- ②接続ケーブル 1本

※欠品や破損があった場合は、品番(BCR-2DST3BK)と上記の番号(①~③)と名称(接続ケーブルなど)をお知らせください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

- 本製品スキャン部の光を肉眼で見たり、他人の顔あるいは目に向けて照射したりしないでください。
- 本製品とパソコンは、USBハブなどを介さず直接接続してください。
- 直接日光が長時間あたる場所、粉塵の多い場所、湿気が多い場所、油煙や湯気のある場所、急激な温度変化のある場所など発熱物の近くでは、使用・保管しないでください。
- ケーブルを無理に引っ張ったりねじったり、ケーブルを持って持ち運んだりしないでください。
- 濡れた手で取扱わないでください。
- 長期的な振動や、落下等の強いショックを与えないでください。
- ケーブル類は、できるだけ高圧線や動力源から離してご使用ください。ノイズや故障等の原因になります。
- 本製品のスキャン部を傷つけないようにしてください。また、水・油・ホコリなどを付着させないでください。
- シンナー・ベンジンなどの溶剤で拭いたりしないでください。
- 故障・破損したままで使用しないでください。
- 本製品を分解修理しないでください。故障と思われる場合は弊社までご連絡ください。
- ペースメーカーなどの医療機器を使用している方は、医師に相談の上で使用してください。
- 小さいお子様には使用させないでください。

ご注意

- 本製品を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品は一般的な職場やご家庭での使用を目的としています。本書に記載されている以外でのご使用にて損害が発生した場合には、弊社は一切の責任を負いません。
- 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下で使用しないでください。

ご使用までの手順

詳細は各項目をご確認ください。

1 対応機種・対応OSを確認してください。
→2.対応機種・対応OS



2 付属の接続ケーブルをコードリーダーに取付けます。
→4.ご使用前に「1.コードリーダーにケーブルを取付ける」



3 パソコンと接続してください。
→4.ご使用前に「2.本製品をパソコンと接続する」



4 コードを読み取れます。
→5.コードの読み取り方法
※設定コードを読み取ることで設定を変更できます。
→9.設定コード一覧



1.特長

- 2次元、1次元どちらのコードにも対応したバーコードリーダーです。
- スタンドタイプなのでバーコードリーダーを手で持たずにスキャンが可能です。
- スマートフォンやパソコンの液晶画面に表示されたコードを読み取ることができます。
- スタンドは角度をつけることができます。

2.対応機種・対応OS

■ 対応機種

- Windows搭載(DOS/V)パソコン
- Apple Macシリーズ
- ※USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種。

■ 対応OS

- Windows 10・8.1・8・7
- macOS 10.12~10.15, Mac OS X 10.10~10.11
- ※機種により対応できないものもあります。
- ※この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

3.各部の名称とはたらき

①コードリーダー

青色LED
電源がONになった際と、コード読み取り時に青色に点灯します。

赤色LED
電源ON時、点灯します。

スキャン部
コードを読み取ります。

ケーブル接続部
付属の接続ケーブルを取付けます。

〈角度の調整〉
角度を前に約20°、後ろに約25°調整することができます。

〈横から見た図〉

〈前面〉

〈背面〉

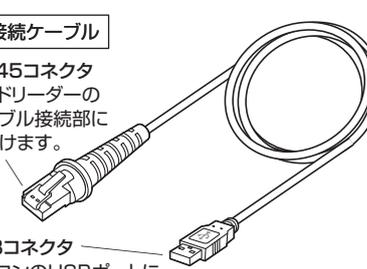
〈底面〉

壁掛け穴
壁面に取付けたフックなどに引っ掛けて設置できます。

②接続ケーブル

RJ45コネクタ
コードリーダーのケーブル接続部に取付けます。

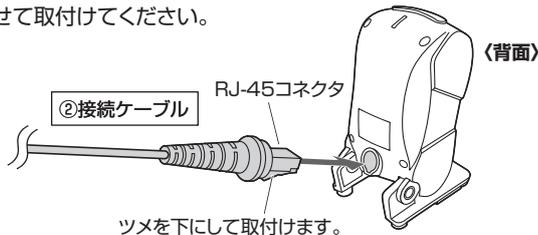
USBコネクタ
パソコンのUSBポートに接続します。



4.ご使用の前に

1.コードリーダーにケーブルを取付ける

コードリーダー背面のケーブル接続部に付属の接続ケーブルを形を合わせて取付けてください。



2.本製品をパソコンと接続する

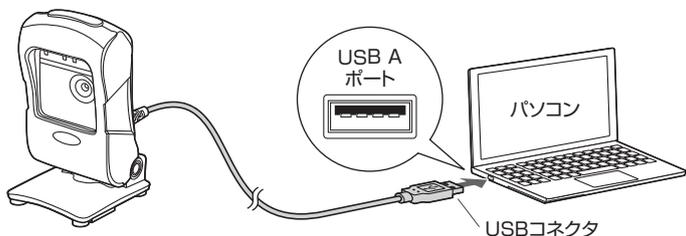
接続する前に

① パソコン上のアプリケーション(ウイルス検知ソフトの常駐ファイルなどを終了させておくことをおすすめします。

② パソコンの電源を入れ、完全に起動させてください。

③ 接続ケーブルのUSBコネクタをパソコンのUSB Aポートに接続してください。

④ USBコネクタには上下がありますので、USBポートの上下を確認して接続してください。



⑤ 自動的にハードウェアの検知が始まります。インストール作業中は、本製品を動かさないでください。

(Windowsの場合)

タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」「USB入力デバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

※OSなどによりインストールの表示が出ない場合があります。

⑥ 赤色LEDが点灯します。青色LEDが点灯した後消灯し、「ピッピッ」という起動音が鳴ります。

これでパソコンとの接続は完了しました。

5.コードの読み取り方法

① パソコンでExcelやメモ帳などのアプリケーションを起動してください。

② 読み取りたいコードをスキャン部にかざすと、自動的に読み取ります。

初期設定では「ピッ」と読み取り音が鳴り、青色LEDが点灯します。



③ コードのデータがパソコンへ転送されます。

④ ①で起動したアプリケーションに読み込んだコードの内容が表示されるので確認してください。

例) 13桁JANコードを読み込んだ場合

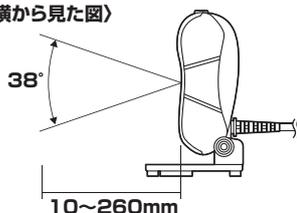
4969887123456
4969887123457

⋮

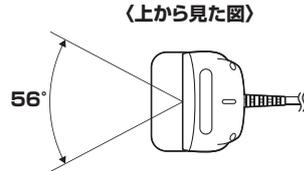
6.コード読み取り範囲

読み取りたいコードを下記の範囲に近づけてください。「ピッ」と読み取り音が鳴り(初期設定)、コードを読み取ります。

(横から見た図)



(上から見た図)



- コードと本製品スキャン部を1cm以上離して読み取ってください。
- 読み取るコードにより読み取れる距離が変わります。詳しくは「10.仕様」内「読取深度」をご確認ください。

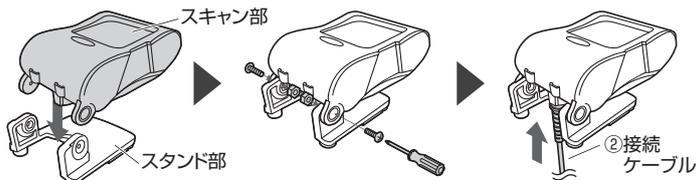
7.壁面に取付ける方法

コードリーダー底面の壁掛け穴を壁面に取付けたフックなどに引っ掛けて設置できます。

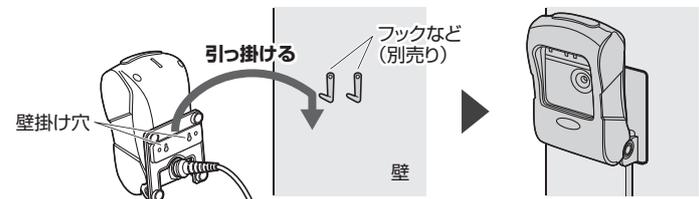
① コードリーダーのボルトとナットをプラスドライバー(別売り)で取外し、本体とスタンド部を離してください。※接続ケーブルは取外しておきます。(「8.ご使用後は」参照)



② 本体のスキャン部を上に向け、ボルトとナットでスタンド部に取付け、接続ケーブルを取付けてください。



③ 壁面にフックや釘など(別売り)を取付け、壁掛け穴を引っ掛けて取付けてください。



8.ご使用後は

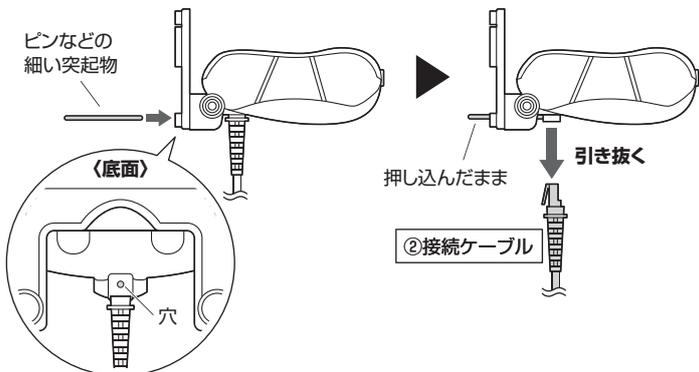
1.本製品をパソコンから取外す

本製品はパソコンから取外すと電源がOFFになります。長期間使用しない場合は接続ケーブルのUSBコネクタをパソコンから抜いてください。



2.接続ケーブルをコードリーダーから取外す

収納する際は接続ケーブルを取外してください。コードリーダーの底面の穴にピンなどの細い突起物を差し込み、ピンを押し込んだまま、接続ケーブルを引き抜いてください。



9.設定コード一覧

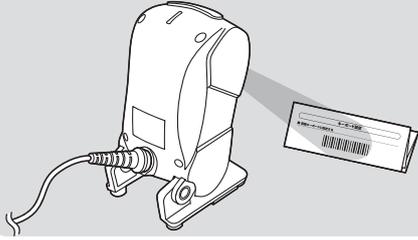
本製品は以下の専用のバーコードを読み取ることで、様々な設定を変更できます。

設定コードの読み取るコツ



以下の設定コードを読み取る際は、本書を折り曲げたりなどして、読み取りたい設定コード以外のコードを隠してスキャン部にかざしてください。間違えて他の設定コードを読み込む場合があります。間違えて他の設定コードを読み込んだ場合は、「初期設定に戻す」の設定コードを読み込むと販売時の状態に設定を戻すことができます。

※コードの読み取り範囲は「6.コード読み取り範囲」をご確認ください。
※赤色LEDの光り方はイメージです。



初期設定に戻す

本製品の設定を販売時の状態(初期設定)に戻します。



キーボード設定

■ 日本語キーボードに設定する



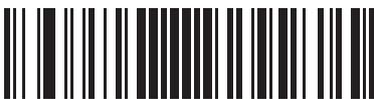
■ 英語キーボードに設定する(初期設定)



起動音の設定

パソコンと接続した際に鳴る「ピッピッピッ」という起動音のON・OFFを設定できます。

■ 起動音を鳴らさない



■ 起動音を鳴らす(初期設定)



読み取り音の設定

コードを読み込んだ際に鳴る「ピッ」(初期設定)という読み取り音について各種設定できます。

■ 鳴らさない



■ 鳴らす(初期設定)



■ 音量を「小」にする



■ 音量を「大」にする(初期設定)



■ 低い音にする



■ 高い音にする



■ 初期設定の高さに戻す



音のON/OFF設定

音量の設定

音の高さの設定

9.設定コード一覧(続き)

■ 短くする



■ 長くする(初期設定)



青色LEDの設定

■ コード読み取り時に点灯させない



■ コード読み取り時に点灯させる(初期設定)



読み取り可能コードの設定

読み取りコードをコードごとに読み取り可、読み取り不可に設定することができます。



全コードを読み取り可にすると、本製品の読み取り速度が低下する場合があります。環境に合わせて必要なコードを読み取り可、使用しないコードを読み取り不可に設定することをおすすめします。

全コード※「10.仕様」に表記してある「コード種類」に限ります。

■ 読み取り可



■ 読み取り不可



Codabar

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



Codabarの先頭・末尾入力文字の設定

Ⓐ123456789Ⓑ

この文字を読み取り可、不可に設定することができます。

■ 読み取り可



■ 読み取り不可(初期設定)



9.設定コード一覧(続き)

Code 11

■ 読み取り可



■ 読み取り不可(初期設定)



Code 39

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



Code 93

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



Code 32

■ 読み取り可(初期設定)

Code32を読み込み可にするにはCode39を読み込み可の状態にしておく必要があります。まずCode39の読み取り可のコードを読み込み、Code32の読み込み可のコードを読み込みます。

Code39 読み取り可コード



Code32 読み取り可コード



■ 読み取り不可



Code39を「読み取り可」の場合、Code32を「読み取り不可」にしてもCode32の読み取りが可能ですが、異なった内容が出力されます。



Interleaved 2 of 5 (ITF5)

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



Industrial 2 of 5

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



9.設定コード一覧(続き)

Matrix 2 of 5

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



Code 128

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



GS1-128

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



UPC-A

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



UPC-E

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



EAN/JAN-8

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



EAN/JAN-13

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



GS1 DataBar(RSS14)

■ 読み取り可



■ 読み取り不可(初期設定)



9.設定コード一覧(続き)

GS1 DataBar Limited

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



GS1 DataBar Expanded

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



PDF417

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



Micro PDF417

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



QR Code

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



Micro QR

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



Data Matrix

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



Aztec Code

■ 読み取り可(初期設定)



■ 読み取り不可



10.仕様

電源	USB 5V
コード種類	1D EAN-8, EAN-13, ISSN, ISBN, UPC-A, UPC-E, Code 11, Code 32, Code 39, Code 93, Code 128, Codabar, industrial 2 of 5, Interleaved 2 of 5, Matrix 2 of 5, GS1-128, GS1 Databar, GS1 Databar Limited, GS1 Databar Expanded
	2D PDF417, Micro PDF417, QR Code, Micro QR Code, Data Matrix, Aztec
PCS値	≥20%
読取深度	4mil Code39/10~120mm
	5mil Code39/10~140mm
	13mil UPC-A/10~260mm
	6.67mil PDF417/10~140mm
	10mil DataMatrix/10~130mm
20mil QR Code/10~230mm	
光源	赤色LED
走査速度	60frame/sec
消費電流	300mA
環境	動作温度/0℃~50℃、湿度/5%~95%(結露なきこと)
	保存温度/-10℃~60℃、湿度/5%~95%(結露なきこと)
耐衝撃	1.1m
サイズ・重量	W82×D88×H156mm・246g

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

11.トラブルシューティング

Q. Code32を読み込むと違う内容が出力される。

- A. Code39を「読み取り可」にしてCode32の「読み取り可」のコードを読み込んでください。
Code39を「読み取り可」、Code32を「読み取り不可」にしてもCode32の読み取りが可能ですが、異なった内容が出力されます。

12.保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - (1)保証書をご提示いただけない場合。
 - (2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (3)故障の原因が取扱上の不注意による場合。
 - (4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - (5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - (6)譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書		サンワサプライ株式会社	
型番: BCR-2DST3BK	シリアルナンバー:		
お客様・お名前・ご住所・TEL			
販売店名・住所・TEL			
担当者名			
保証期間 1年		お買い上げ年月日 年 月 日	

最新の情報はWEBサイトで <https://www.sanwa.co.jp/>



本製品の詳細情報はこちら!

スマホで読み込むだけで簡単にアクセス!



弊社サポートページはこちら!

■サポート情報 ■Q&A(よくある質問)
■ソフトダウンロード ■各種対応表
など、最新情報を随時更新しています。

ご質問、ご不明な点などがありましたら、ぜひ一度弊社WEBサイトをご覧ください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社

ver.1.0

岡山サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
札幌営業所 / 〒060-0808 札幌市北区北八条西4-1-1 パストラルビルN8 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
東京サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
仙台営業所 / 〒983-0852 仙台市宮城野区福岡1-6-37TM仙台ビル TEL.022-453-2031 FAX.022-453-2033
名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7ファジヤマビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-5-36 セントラル新大阪ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078
福岡営業所 / 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-3博多八百住ビル

CA/AI/HADaNo